

南会津 のうりんニュース

ふくしまからはじめよう。

「食」と「ふるさと」新生運動

トピックス

「畑の学校」を開校しました

5月25日、下郷町立旭田小学校の1年生から3年生まで40人を対象として「畑の学校」を開校しました。畑の学校は「ふくしまの農育推進事業」の一環として、豊かな感性と深い見識を持った子どもたちを育てるとともに、「農業・農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」、「食・命の大切さ」への理解を深めることを目的に毎年実施しており、同校では2年目となります。御協力をいただきました関係者の皆様、ありがとうございました。

3年生が進行を務めた開校式で、校長先生のお話しをいただいた後、畑の応援団（教員、下郷町土地改良区職員、南会津農林事務所職員）の指導の下、全員で約500㎡の畑に、サツマイモ、シシトウ、かぼちゃなどの苗を植え付けました。

今後、生育状況の観察や収穫、生き物調査等を通して、農業と「食」に興味と理解を深めて頂ければ幸いです。



一生懸命頑張っていました

(農村整備部)

第181号(平成28年6月)

今号の写真:ニッコウキスゲ

《目次》

●トピックス

- ・「畑の学校」を開校しました
- ・「おいしい ふくしまいただきます！」キャンペーンを開催しました
- ・国民の祝日「山の日」が制定されました
- ・管内町村農林担当課長等会議を開催しました
- ・南会津地方GAP・農薬適正使用推進会議を開催しました
- ・福島県南会津公共工事安全推進協議会平成28年度通常総会が開催されました

●コラム

- ・～木材の利用を進める～ 第2回テーマ「木材の用途」

●農林事務所からのお知らせ

- ・南会津地域の恵み安全対策協議会からのお知らせ
- ・「がんばろう ふくしま！」応援店の募集について
- ・エコ農産物マークシール提供のお知らせ
- ・「がんばろう ふくしま！」応援店プレゼントキャンペーンの実施について

平成28年6月30日発行 福島県南会津農林事務所

「おいしい ふくしまいただきます！」 キャンペーンを開催しました

福島県では県産農林水産物の風評払拭と農林水産物の消費拡大を目的

として、「おいしい ふくしまいただきます！」キャンペーンを県内各地で開催しております。

南会津農林事務所では、5月21日に道の駅たじまにおいて、第1回目のキャンペーンを開催し、旬の「会津田島アスパラ」をPRしました。

当日は、JA会津よつばみなみ地区本部の御協力をいただき、焼きアスパラガスとアスパラガスの一夜漬けの試食を行うとともに「会津田島アスパラ」等が当たる抽選会を開催しました。

お客様からは「普段食べているものよりも甘みがあり食べ応えがある」「初めてアスパラガスの漬物を食べたがおいしい」との声が寄せられました。

南会津農林事務所では、引き続き県産農林水産物等の消費拡大のための取組を実施してまいります。

(企画部)



国民の祝日「山の日」が制定されました

8月11日が「山の日」として国民の祝日に制定され、本年から施行されることとなりました。



「山の日」の意義は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」とされています。

山（森林）は、水害の防止、水源のかん養、木材をはじめとする林産物の生産等の役割のほか貴重な動植物の生息生育の場であるなど私たちの生活になくてはならないものとなっています。これら森林の恵みとも言える多面的機能を持続的に発揮させていくためには、日常的に森林の整備・管理を行うことが重要です。森林には美しい景観、静けさや風の音、川のせせらぎ、野鳥や虫の鳴き声、木の香りといったように人間の五感を楽しませ、心身を癒やしてくれる働きがあります。

「山の日」の制定を契機に、森林を見つめ直し、健康の維持増進やレクリエーションの場として森林を訪れてみてはいかがでしょうか。

(森林林業部)

管内町村農林担当課長等会議を開催しました

5月11日、県南会津合同庁舎において、県並びに管内4町村の農林担当課長及び農業委員会事務局長、JA会津よつばみなみ地区本部の関係者を構成員とする管内町村農林担当課長等会議を開催しました。



同会議では、当事務所の担当部長等から平成25年3月に策定した福島県農林水産業振興計画「ふくしま農林水産業新生プラン」に基づく当事務所の重点施策について、昨年度の取組状況及び今年度の取組計画の説明を行うとともに、意見交換を実施しました。

出席者からは、昨年9月の関東・東北豪雨災害復旧事業の進捗よく状況の報告のほか、TPPや米の生産調整見直しなど、従来から大きく変化していく制度・環境に対応した当地方の持続可能な農林業のあり方について、意見交換が行われました。

(企画部)

南会津地方GAP・農薬適正使用推進会議を開催しました



5月25日に県南会津合同庁舎において、町、JA、農薬・肥料取り扱い商社等に参加いただき、南会津地方GAP・農薬適正使用推進会議を開催しました。

農薬については、適正使用および保管管理の徹底の呼びかけや、残留農薬超過事例の情報共有を行いました。また、管内で農薬誤使用や残留問題等が発生した際に速やかに事態を収束させるため、連絡体制を構築し、役割分担の下で連携して対応することを確認しました。

GAP（農業生産工程管理）については、管内のJA生産部会等における取組状況や推進方策を検討しました。さらに2020年東京オリンピック・パラリンピックへの食材供給を見据えて、第三者認証GAP取得の推進について協議を行いました。

農産物の出荷が活発化する中で、農薬の使用頻度が高まっています。農薬を正しく使用するのはもちろん、住宅地等に飛散しないように心がけ、安全な農産物の生産に取り組みましょう。

(農業振興普及部)

福島県南会津公共工事安全推進協議会 平成28年度通常総会が開催されました

6月14日、田島建設会館において標記協議会平成28年度通常総会が開催されました。当協議会は、当事務所と南会津建



設事務所(山口土木事務所を含む。)が建設業協会々員と連携し、発注する工事における事故の発生を未然に防止し、かつ作業員の安全・衛生及び作業環境の向上を図る自主活動を促進し、もって県発注工事の円滑な進捗を図ることを目的としています。

関東・東北豪雨災害発生に伴う復旧工事に本格的に着手する今年度は、協議会の事業として、①安全パトロールの実施(年2回程度)、②安全管理に関する講習会の実施、③安全管理に関する啓発活動の実施を計画しています。

総会后に講演会が行われ、会津労働基準監督署の伊藤署長から「労働災害発生状況と労働災害防止」について、南会津警察署地域交通課の三浦課長からは「交通事故防止対策」についての講演が行われました。会津署管内の労働災害発生状況について、建設業の発生件数が最も多く、しかも対前年比12%増となっていることと、南会津管内の交通事故の特徴においては追突・正面衝突・出会い頭が多いことなどを説明して、労働災害防止のポイントとして強調されていました。

講演会終了後、受講者一同、引き続き労働災害発生ゼロ実現に向けた現場での取組に当たる決意を新たにしましたところ。

(総務部)

成14年の最低記録(18.8%)を大きく上回りました。その要因には、国内の森林資源の充実に上げられます。

木材の用途では、製材35%、合板15%、紙パルプ42%、燃料4%、その他4%となっていて、国内では紙パルプが全体の約4割を占めていることに驚かれる方もいると思います。

全国の新設住宅着工数は、平成21年の79万戸から平成26年は89万戸となっており、その中でも一戸建住宅の木造率は約9割を占めています。

木材を住宅や家具として沢山、そして長く愛用することは、炭素を固定して地球温暖化の防止にも繋がります。

さらに、木材の利用は、快適で健康的な住環境等の形成のみならず、地域経済の活性化にも貢献しているのです。

(森林林業部)



梁を強調した木造住宅(南会津町)



ブックマッチ*のテーブル(国産ナラ材)

*ブックマッチとは、丸太を縦に切断し左右対象の木目の見える面を中央で接着したものです。重くしっかりしており、無垢材本来の木目や肌触りを楽しむことができます。

コラム

～木材の利用を進める～ 第2回テーマ「木材の用途」

森林と林業の動向がわかる「森林林業白書」の最新のデータでは、平成26年の国内の木材需要量は7,600万 m^3 、木材自給率は31%と、平

農林事務所からのお知らせ

南会津地域の恵み安全対策協議会 からのお知らせ

農産物の安全・安心の確保のため、簡易分析装置を
活用した放射性セシウム測定の自主検査を今年度も
実施します。ぜひ積極的なご利用をお願いします。

1 検査対象品目（出荷販売用に限る）

- (1) 園芸品目
- (2) 栽培管理がなされている山菜
- (3) そば・大豆・小豆等

※野生きのこ・山菜、栽培きのこは、検査対象外。

2 検査場所

場 所	住 所	電話番号
みなみ地区本部 (東部)	南会津町田島 字行司76	0241-63-1174
南郷営農経済 センター(西部)	南会津町宮床 字川久保22-1	0241-72-2554

※受付日：月曜日～金曜日（祝日を除く）

※原則、当日午前10時までに持ち込み願います。

3 お問い合わせ先

下郷町産業課	TEL 0241-69-1188
只見町農林振興課	TEL 0241-82-5230
南会津町農林課	TEL 0241-62-6220
南会津農林事務所農業振興普及部農業振興課	TEL 0241-62-5253

(農業振興普及部)

「がんばろう ふくしま！」 応援店の募集について

「がんばろう ふくしま！」応援店は、県産農林水産物の風評払拭のため、登録いただいた事業者様に消費者の皆様への安全性に関する正確な情報発信・PRを御協力いただき、県がこれを支援する仕組みです。この機会にぜひ登録についてご検討願います。

●お問い合わせ先

南会津農林事務所企画部 TEL 0241-62-5252
(企画部)

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

エコ農産物マークシール 提供のお知らせ

福島県では、「環境と共生する農業」を推進し、化学農薬や化学肥料の施用量を抑えた農業を実践しているエコファーマーの育成に力を入れています。



エコ農産物マークシール
(実物は直径4cmほどの大きさ)

現在、エコファーマーの知名度をさらに向上させていくため、「エコ農産物マークシール」を無料提供しております。

「エコ農産物マークシール」は、エコファーマーが「持続性の高い農業」によって栽培した農作物に貼付し消費者にアピールするためのものです。

シールを希望する方は、7月29日まで南会津農林事務所農業振興普及部までお気軽にお電話ください。

(枚数に限りがあります。無くなり次第、終了となりますのでご了承ください。)

電話番号：0241-62-5264(担当：薄井)

※提供枚数（生産者一人当たり）：400枚程度

(農業振興普及部)

「がんばろう ふくしま！」応援店 プレゼントキャンペーンの実施について

現在、「がんばろう ふくしま！」応援店で200円(税込)以上の福島県産農林水産物をお買い上げ、もしくは飲食されたレシートを店内備え付けの専用応募紙に貼付してご応募いただくと、抽選で賞品が当たるキャンペーンを実施しています。(応募期間：平成29年2月20日まで)

詳細は「がんばろう ふくしま！」応援店事務局(TEL 03-6712-5094)までお問い合わせいただくか、下記ホームページをご覧ください。

HPアドレス <http://www.ganbarou-fukushima.jp/>

(企画部)



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。